

# 2024.8 月のみどころ

## 〇スイレンの花(呉羽青少年の家)

スイレンは葉が水面にはりつき、花がすぐ上に向きます。ハスの花は水面より上にあります。朝に咲いた花が夕方には眠るように閉じてしまいます。モネの絵参照。



## 〇ヤブミョウガの花(杉木立の森付近)

開花時期は7～9月頃。葉の形がミョウガに似ているからとして、つけられた名前です。ミョウガは「ショウガ科」ヤブミョウガは「ツククサ科」。

## 〇クサギの花(山中多し)

8～9月に白色～紅色の花を樹冠に咲かせ甘い香りを出し、チョウ類の蜜源になる。スズメガ、コスズメ、オオスカシバ、カラスアゲハ、クロアゲハなどがよく集まります。実になると、キジバト、シジュウカラ、ジョウビタキ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリなどが好みます。



## カラスウリの花(パーク近くなど)



カラスウリの花は、午後や夕方から咲き始めて朝にはしぼみます。甘いにおいのする大きな白い花で、花びらの先端(せんたん)が糸状に分かれて広がっています。夜でも目立つ花を咲かせて、蜜(みつ)を吸うために引き寄せられたスズメガ類などの夜行性(夜間に活動し、昼間に休む性質)のガに花粉を運んでもらうのです。身もなり始めています。

## チョウの飛翔

林間でチョウが給水しています。水分をとって体を冷やしているとされます。アゲハ・モンシロチョウ・モンキチョウのほか、以下の蝶も飛んでいます。



ツマグロヒョウモン。メスは羽先が黒い。オスはヒョウ柄。羽を広げて休む



モンキアゲハは羽に白い紋がある



クロアゲハ。羽中は薄い黒、羽下は赤



カラスアゲハは羽の輝きが特徴。色ではなく鱗粉の層による構造色



## キンミスヒキ(呉羽青少年の家付近)

黄色い花が房状に集まったミスヒキのような姿です。花の雄しべは11本。バラ科。全草が下痢止め薬として知られ、整腸薬にもなる。煎液は口内炎、歯肉痛やうがい薬として用いる。湿疹やかぶれには布に浸して冷湿布。風呂に入れると疲労回復に効果あるとされます。